

キク

4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月

国体：9月29日から10月9日 障スポ：10月13日から10月15日

国体・障スポ 一般	1年目 (小菊の場合)	定植	摘心			開花
	2年目以降		摘心			開花
	出芽					

※摘心や切り戻して開花時期や花数は変わります。春に出芽したら、6月下旬～7月中旬までに摘心を数回します。
※育成期間は一例となります。花の生育は栽培環境によって異なります。

特徴

花の大きさ、形などが様々な種類があり、花の大きさで、大菊、中菊、小菊に分けられる。

奥越地域を中心に、福井県内で一番多く生産されている花である。

皇室の紋章としても用いられ、桜と並んで国花になっている。



播種

キクは種から育てるのは難しく、苗から育てるのが一般的です。種から育てる場合、種が非常に小さいので風で飛ばされないよう、覆土はうっすらと種が隠れる程度にします。発芽適温は15～20℃前後となります。



種子

移植

3～4枚の時期を目安に、ポットなどに丁寧に移植します。

定植

適した土壤：有機質に富み、水はけがよく保水性のある弱酸性の土壤

ポットに十分根が回ったら、植え付けします。

花壇植えの場合、株間は30cm程度が目安です。

管理

日当たりの良い場所を好みます。

キクは肥料がたっぷり必要ですので、定期的にしっかりと与えましょう。生育期には窒素が多い肥料、開花期にはリン酸の多い肥料を与えバランスよく使用しましょう。

水やりは表土が乾いたらたっぷりとあげましょう。日光を好みますので真夏以外は日当たりで管理し、真夏は半日陰で管理しましょう。

原産地 — 中国

科名 — キク科

花言葉 — 高貴